

# うえだ 6.1

平成23年

No.125

## CONTENTS

- 2 特集 災害支援協働の取組
- 8 特集 重点目標
- 14 特集 医療座談会
- 18 情報びっくあっぷ
- 20 情報あ・ら・かると
- 27 キラリ☆輝くこどもたち!
- 29 情熱地域
- 30 四ツ葉スケッチ
- 32 読者通信



# ・宮城県を訪問



上田城千本桜まつりで集まった義援金や「上田城 城灯りの景」で寄せられた応援メッセージなどを被災地に届けるため、母袋市長が5月11日・12日の2日間、被害の大きかった宮城県内の自治体を訪問しました。そして、「信州上田」歌と愛を袖い大使(特別観光大使)であり、実家が大きな被害に見舞われた仙台市出身の三代目コロムビア・ローズさんも一緒に訪問し、避難生活を余儀なくされている皆さんへ、一瞬でも心の傷を癒していただけけるよう、歌声を届けました。

## 市長・ローズさんが 仙台を訪問

5月11日、市長は東日本大震災で被災した仙台市を訪問。今後被災地復興に向けて、関係団体と連携した息の長い支援活動が必要であることから、上田市議会の南波清吾議長、上田市社会福祉協議会の丸山正明会長、上田商工会議所の柳澤憲一郎副会頭、JA信州うえだの芳坂栄一代表理事組合長と合同での訪問でした。一行は、現地でローズさんと合流し、出身地の若林区の避難所で避難生活をしている皆さんを励ました。ローズさんは心を込めて歌い、また一人ひとりから現在の心境などを聞いて回りました。被災された方たちは、地元出身のローズさんの歌声に涙し、大きな拍手を送りました。翌12日には、奥山恵美子仙台市長を訪問し、義援金のほか、上田市内の保育園・幼稚園などから寄せられた応援メッセージや、上田の姉妹都市であるスイス・ダボス町から送られた千羽鶴などを渡しました。

今回の地震や津波被害による死者・行方不明者は、宮城県が一番多く、政令指定都市の仙台市には、阪神淡路大震災の復興ノウハウを持つ神戸市をはじめ多くの自治体職員も派遣されています。奥山市長からは、「融資相談で社会福祉協議会に1kmもの長蛇の列ができた」、「海岸沿いの農地の約8割に当たる1800ha



多くの農地が浸水した、仙台市若林区荒浜の様子。

仙台市若林区の避難所で避難している方たちを励ます母袋市長。



出身地の若林区の避難所を慰問し、歌うローズさん。



岩沼市の避難所で歌う三代目コロムビア・ローズさん

仙台市長(右から4人目)に、義援金や応援メッセージ、千羽鶴を手渡した。



が浸水被害を受け、今後の農業復興のためにも、全国のJA組織の支援をいただきたい」などの話があり、母袋市長は「長野県市長会長の立場としても、中長期的な支援をしたい」と激励しました。

※プラウド！ジャパンは、誇り高き日本、堂々たる日本という意味で、東日本大震災の復興支援を呼びかける目的で、自治体広報担当者有志が始め、全国自治体広報に広がるロゴマークです。上田市もこの趣旨に賛同し、災害支援のページに使用しています。

# 被災地に届けた千本桜の思い



千本桜まつりで集められた義援金を  
仙台市長に手渡した。

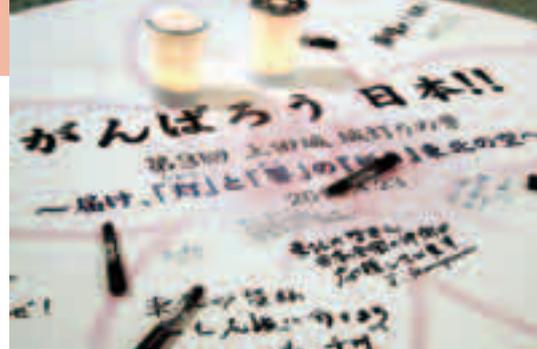
今年の上田城千本桜まつりは、被災地支援をテーマに開催され、会場には多くの観光客や市民から義援金や、復興応援メッセージが寄せられました。また、4月23日にメインイベントとして開催された「第3回上田城<sup>あか</sup> 城灯りの景<sup>え</sup>」では、三代目コロムビア・ローズさんやTime（佐田大陸<sup>さだたいりく</sup>& 詠夢<sup>えいむ</sup>の兄妹ユニット）による応援チャリティーライブも開催されました。こうして集められた義援金やメッセージは、今回の災害で、仙台市の実家が被災されたローズさんに託され、今回の被災地訪問に際して、宮城県仙台市や亘理町<sup>わたりちよ</sup>に届けられました。

## 義援金とメッセージを届ける

## 岩沼市・亘理町を訪問

5月12日、母袋市長たちは仙台市に近い岩沼市の避難所の市民会館を訪問し、ローズさんは歌を届けました。約100人の方がローズさんの歌声に聞き入りました。

その後、一行は友好都市である東京都練馬区と共同で支援する亘理町の斎藤邦男町長を訪問し、義援金や応援メッセージ、支援物資や千羽鶴を届けました。亘理町での支援活動は、4月24日から6月6日までの44日間、7回総勢24人の上田市職員を派遣し、避難所の運営支援、仮設住宅の受付相談といった業務に携わっています。母袋市長たちは、派遣中の練馬区と当市職員の激励も行いました。



千本桜まつりでは多くの来場者から義援金やメッセージが寄せられた。

右／亘理町の斎藤町長(左から2人目)と岩佐議長(左端)に義援金、応援メッセージを手渡した。

下／亘理町では、支援活動をする練馬区と上田市の職員を激励した。



# 災害支援 Information

☎ 危機管理室 TEL21・0123

## ■上田市に避難した皆さんへ

この度の震災により、上田市に避難した方は、市役所危機管理室まで、ご連絡ください。今まで住んでいた自治体に避難した皆さんの情報を送り、円滑に支援が受けられるようにするものですのでご協力をお願いします。

避難した皆さんには市営住宅の入居や、税金の相談など上田市からの支援内容をお知らせしています。詳しくは上田市ホームページをご覧ください。ただかお問い合わせください。

## ■上田市の義援金について

市民などの皆さんからいただいた義援金は、5月10日現在、上田市と上田市社会福祉協議会分をあわせて、8,100万円を越えています。この義援金は、東日本大震災の被災地に日本赤十字社・共同募金会を通して、また、長野県北部の地震の被災地である栄村には、栄村震災義援金受付口座へ送金しているほか、市が救援物資を届けたり、災害ボランティアに出向いた際に、岩手県大槌町および宮城県6市町(仙台市・名取市・岩沼市・亘理町・山元町・南三陸町)へ直接お届けしました。

皆さんからの温かなご協力に感謝するとともに、引き続き、ご支援をお願いします。



# 被災地を訪問して



## 市長

今回、宮城県内の市町を訪問し、被災のすさまじい様子を目の当たりにして、地震や津波の恐ろしさを痛感いたしました。

避難者の大変な生活ぶりの実情を見て、また、三代目コロムビア・ローズさんの歌声を聞き、涙を流して聞き入る被災者の皆様、涙を流しながら熱唱するローズさん、それぞれの姿に目頭が熱くなり、歌、ひいては芸術や文化が人々の心に寄り添い、心をひとつにする、そんな大きな力を改めて感じたところでもあります。

今回、上田城千本桜まつりなどでいただいた多くの応援メッセージと義援金を被災地に贈ることができ、また、被災者の皆様へ、わずかばかりでも「元氣」と「希望ある明日を信じて」との激励の言葉を伝えることができ、大変意義ある訪問となりました。

また、亘理町には、上田市の友好都市・練馬区との共同で支援をしており、職員激励もできました。

今後も市民協働のもと、長い目で、でき得る限りの支援と被災者の受け入れを考えていきますので、市民の皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

## 三代目 コロムビア・ローズさん

今回、母袋市長を始め、市の各団体の皆さんと千本桜まつりで寄せられた義援金を私の故郷・仙台市にお届けをさせていただきました。私が



育った仙台市若林区七郷、荒浜地区の皆さんが避難しているウエルサンピア、そして名取川の氾濫によって被害が大きかった岩沼市の方が避難している、岩沼市の市民会館を訪問させていただくことができ、大変感謝しております。

3月11日、荒浜は7mの津波によって地区ごとすべて流され壊滅し、たくさんの方が亡くなられました。避難所に行つて、何と言葉をかけたらいいいのか、今はまだ歌を聞けるような心境にはなれないのだろうか、私自身も泣いてしまっそうで、様々な不安がありました。しかし、

地元の皆さんのことが心配で仕方ありませんでした。荒浜地区の皆さんにはたくさんのお愛で育てていただき、また、デビューしてからも応援していただいております。

避難所での生活も2か月が過ぎ、まだ先が見えない生活を送り、日々疲れきつていると思い、皆さんの心を少しでも癒すことができたらと、精一杯の気持ちで込め、歌わせていただきました。

私の歌を、涙を流して聞いてくださった方、住んでいた家も家族も失った方、来て泣き崩れた方もいらっしゃるいました。しかし、避難所で暮らしている皆さんは「元氣に頑張るから、絶対に立ち上がるから」と誓ってくれました。私自身もその力強い言葉に励まされ、東京に帰ってまいりました。一日でも早い復興、そして皆さんに笑顔が戻りますよう願っています。

# 協働による市民ボランティア活動



4月15日から18日まで、大手町自治会有志とボランティア登録した市民など28名が、東日本大震災で被災し、長野県社会福祉協議会が支援担当する岩手県大槌町で災害ボランティア活動を行いました。これは、市がバスや運転職員、装備品を提供し、上田市社会福祉協議会がボランティア募集と職員派遣を行う、協働による災害ボランティア活動です。同行した市広報担当が、取材した内容をお知らせします。

## 出発

4月15日午後8時、市役所前でも出発式が行われました。母袋市長から激励を受け、市からの義援金やメッセージと、上田市立南小学校から現地の大槌小学校への義援金と文房具が託され、大手町自治会長の中村彰隊長がボランティア代表で挨拶をし、出発しました。南小学校の義援金と文房具は、児童会が自主的に集めたもので、子どもたちが持ち寄ったお金や文房具です。

## 大槌町の状況

一行は約12時間かけて、翌16日の朝、大槌町に到着。人口約1万5000人の大槌町は、海岸沿いに鉄道や主要な道路が走る町です。津波が海岸沿いの港、町役場や小学校、住宅のみ込み、町の中心

## 市民ボランティアの声



鈴木雄太さん(東内)

親戚が東北地方にいたので、何かしたいと思い、震災の2日後くらいにボランティア登録しました。現地は、テレビで見る以上にひどく、言葉もない状況です。泥の除去などボランティア作業で、被災地のために、少しでも役に立てればという気持ちです。



池内誠一さん(東前山)

地元でもボランティアをしています。テレビを見て助けたいと思い、参加しました。現地の状況はテレビで見るよりひどいと感じました。阪神淡路大震災のときは、忙しくて行けませんでしたが、今回は、造園の仕事が空いていたので参加しました。海の塩で桜などが枯れていれば、苗木を寄付したいと思っています。

岩手県大槌町で、津波で流された写真やアルバムを洗浄する上田市の市民ボランティア。

特集  
災害支援協働の取組

被災地の声

大槌町社会福祉協議会  
総務係長  
川端伸哉さん

現地ボランティアセンターの運営を行う大槌町社会福祉協議会の川端伸哉さんに話を伺いました。

「あそこまでの津波が来るとは思わなかった」と震災当日について振り返る川端さん。震災当時の社協の上司は全員亡くなり、お兄さんも津波で亡くなったそうです。「去年も地震はあったのですが、その時は50cmくらいの津波しか来なかったの…」と言います。「津波で亡くなった方は、お年寄りが多いです。若い人で亡くなった人の多くは、家族の安否確認や救出に戻った人や消防団員です。自分一人なら助かったかもしれませんが。津波は、各自で逃げるしかないです」と津波の恐ろしさを話します。

大槌町では、震災の3週間後くらいから、ボランティアの受け入れが始まり、4月16日時点で、約400人が活動しているそうで、「ボランティアも色々なアイデアを持った団体があるので、それを生かした形にしたい」と話す川端さん。団体からの提案を聞いて、避難所で活動してもらった方が良ければ、行政の避難所班に話をつなげるなど、ボランティアの受け入れ窓口と調整を行っています。「ボランティアは、もっと多く来てもらえれば助かります」と話してくれました。



津波の被害により、町の大部分が、一面の瓦礫となった大槌町。

部は、押し流された家屋や自動車など、一面の瓦礫が広がっていました。津波により町長も亡くなり、5月16日現在の町復興復興の情報によると、死亡者数763人、行方不明

義援金を手渡す

明者数952人、避難者数6668人という甚大な被害を受けました。

到着後、中村彰隊長と市の岡田洋一市民参加・協働推進参事は、災害対策本部と避難所が置かれている大槌中央公民館を訪れ、大槌町の東梅正昭副町長に市長からのメッセージと市民からの義援金を手渡ししました。東梅副町長は、「遠くから来ていただき感謝しています。市長や、市民の方によりしくお伝えいただきたい」と受け取り、「避難所では、野菜などが不足しています。野菜ジュースなどがあるとありがたい」と話していました。また、同公民館で大槌小学校の児童に、南小学校の児童の書いたメッセージと義援金、文具も手渡されました。

ボランティア活動

市民ボランティアの現地活動は、16・17日の2日間行われました。1日目は、津波で流された写真やアルバムの洗浄作業。自衛隊が作業場へ運び込む泥や海水で汚れた写真やアルバムを、タオルや刷毛できれいにして避難所に届けます。避難所では、家族の写真を探す多くの被災者の姿が見られました。2日目は、4班に分かれ、床上浸水した家屋の土砂の除去や消毒用石灰の散布を行いました。作業したお宅からは、休憩にジュースを出していただいた班もあり、感謝されました。参加者は、僅かな時間ですが被災地のために活動でき、来て良かったという気持ちを持ちながら帰途に着き、翌18日の朝4時に上田に到着して活動を終了しました。



床上浸水した家屋で、庭の土砂を除去する市民ボランティア。

大型建設機械の資格を持っているので、役に立てばと思えばボランティア登録しました。私が岩手県に行くことになったら、勤務先の南小学校の子どもたちが自主的に義援金や文具を集めてくれました。子どもたちの純粋な気持ちを現地に伝えたいです。洗浄した写真やアルバムが被災された方に届き、震災前を思い出しながら、少しずつ輝きを取り戻してくれればと願って作業しました。



橋詰一夫さん(上田原)

現地ですごくなことが起きているのが、まず見てみようと思えばボランティア登録しました。ボランティアを受け入れても、上手く活用できない例もあると聞きましたが、大槌町は、想像以上に受け入れ体制ができていると感じました。写真やアルバムの洗浄は、地道な作業ですが、必要だと感じました。



加藤新さん(上常田)

# 特集 重点目標

上田市では、取り組むべき目標の明確化と効率的な市政経営を行うため、

「目標管理制度」を導入し、

毎年度、部局ごとに課題（重点目標）を設定し取り組んでいます。

今年度、各部局が重点的に取り組む目標をお知らせします。

なお、具体的な目標数値や期限、過年度の実績など

詳細については、上田市ホームページをご覧ください。

## 政策企画局

### 23年度重点目標

- 1 参加と協働のまちづくりの推進
- 2 地域内分権確立に向けた仕組みづくりの検討
- 3 地域活性化プロジェクトの推進
- 4 定住自立圏の形成および後期基本計画の策定
- 5 緊急経済・雇用・生活対策への取組

4月に施行された「自治基本条例」の周知を通じて、まちづくりへの「参加と協働」の理念の定着を図ります。

地域内分権の確立に向け、川西地域自治センターの施設整備、各地域自治センターの機能、地域協議会の強化、地域予算の拡充について、これまでの実績や課題を踏まえて検討を進めます。

地域活性化のプロジェクト事業である産院の移転新築は来年春の開設、交流・文化施設は23年度内に実施設計の完了を目指します。

魅力ある上田広域圏を形成するため東御市、長和町、青木村、坂城町、立科町とともに「上田地域定住自立圏」の実現に取り組めます。

昨年から策定に着手している「第一次上田市総合計画後期基本計画」は、最終答申に向けて審議会を開催していきます。

上田地域の経済・雇用情勢は回復基調にあります。引き続き各種の経済・雇用・生活対策を実施していきます。



来年春開設予定の新産院



## 市民生活部

### 23年度重点目標

- 1 地球温暖化防止対策の推進と生活環境の保全
- 2 資源循環型社会の形成に向けたごみ減量化の推進
- 3 犯罪や交通事故のないまちづくりの推進
- 4 人権が尊重され男女がともに参画できるまちづくり
- 5 外国籍市民への支援と多文化共生のまちづくり
- 6 市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上

地球温暖化防止対策として、引き続き太陽光発電などの導入を積極的に支援し、今年度から自治会と協働して防犯灯のLED化を推進します。また、河川パトロールやアレチウリの駆除などを行い、美しいふるさとづくりに努めます。

上田地域広域連合が進める資源循環型施設(ごみ焼却処理施設等)の建設候補地選定に向けて、広域連合と連携を密にして対応します。また、生ごみの資源化に向けたモデル事業を実施します。

安全・安心面では、交通死亡事故が多発していることから、引き続き子どもと高齢者の事故を防ぐための交通安全教室を開催します。また、地域および駅前の防犯パトロールを実施し、犯罪防止に努めます。

第二次上田市男女共同参画計画の策定、多文化共生社会の形成に向けた各種取組、更に市営住宅の管理のあり方を研究します。



河川パトロール風景

## 財政部

### 23年度重点目標

- 1 社会情勢に対応した財政運営と持続的・安定的財政基盤の確立
- 2 市税等の収納率の向上
- 3 公平・適正な課税の推進
- 4 住民参加型市場公募債の発行
- 5 遊休財産・土地開発公社保有土地の処分の推進
- 6 公有財産の適正な管理

東日本大震災による社会情勢や地域経済への影響を見極め、市の予算が適切に執行できるよう、国、県などと調整を行うとともに、被災地の一日も早い復興を支援していきます。また、災害復興支援予算や震災による市内事業者への影響などを踏まえ、不況対策関係予算を編成していきます。

長引く景気低迷の影響を受け、雇用環境は厳しい状態が続いていますが、新たな滞納を発生させないための収納対策を進めていきます。本年度から長野県地方税滞納整理機構が業務を開始していますが、関係機関とも更に密接に連携しながら、効率的な滞納整理を行っていきます。

統合型GISを活用して、固定資産税課税事務の改善を図るなど、より公平で適正な課税を推進します。財産管理においては、遊休土地の処分などを積極的に進めていきます。



3月16日号掲載の財務諸表

## 総務部

### 23年度重点目標

- 1 市民と行政の協働による防災体制の整備
- 2 市民満足度の向上を目指した職員の育成
- 3 「第二次上田市行政改革大綱」の策定による行財政改革の推進
- 4 市民参加による広報事業の推進
- 5 第二次情報化基本計画の策定および情報セキュリティ対策の強化

昨年発生した豪雨災害などの経験を踏まえ、自主防災組織を中心とする地域防災力の強化と、市民一人ひとりの防災意識の向上に取り組み、職員の効率的かつ機動的な初動体制を構築することで、市民と行政との協働による防災体制の整備に努めます。

「生活者起点」、「市民第一主義」の基本理念のもと、職員の意識改革と資質の向上を図り、一層のサービス向上を目指します。また、将来を見据えた効率的かつ効果的な行政経営と地域経営を推進する必要があることから、第二次行財政改革大綱を策定し、継続的な行財政改革に取り組みます。

広報事業は、市民アンケート調査の実施やモニター制度を導入し、市民の目線に立った情報提供に努めます。

市民に信頼される行政サービスを提供するため、個人情報などの情報資産のセキュリティ対策を強化します。



昨年8月に発生した豪雨災害(大良地区)

## 商工観光部

### 23年度重点目標

- 1 地域力・市民力を活用した観光施策の展開
- 2 地域力連携による企業誘致・企業留置策の展開
- 3 求職者・勤労者支援と学卒就職支援
- 4 おもてなしの観光基盤整備
- 5 中心市街地商業の活性化支援

東日本大震災などの影響により、厳しい状況下にある観光業・商工業を支援するため、取り得る方策を総動員してそれぞれの事業を積極的に推進します。

観光を市のリーディング産業として積極的な振興を図り、市民力を生かしたイベントを展開します。また、インバウンドや震災の二次的被害打開のための観光客誘致に取り組みます。

産業振興の方向性などを盛り込んだ、商工業振興プランを作成します。また、中小企業施策等を展開し、タイムリーな支援を行い企業留置を図るとともに、企業誘致を進めます。

上田市勤労者福祉センターを拠点に求職者・勤労者に総合サービスを提供します。特に新卒就職希望者に対する就業支援体制の強化を図ります。

観光客にアンケート調査を行い、接遇改善を図ります。また、快適な観光トイレの提供をするなどおもてなしの観光基盤整備を推進します。

中心市街地活性化基本計画の実施事業の調整、商店街の活動支援、空店舗再生支援や大型店との連携支援を行い、中心市街地活性化を図ります。



上田城千本桜まつりでのアンケート風景

## こども未来部

### 23年度重点目標

- 1 少子化対策と次世代育成支援対策の推進
- 2 上田市保育園等運営計画に基づく保育施設の整備
- 3 きめ細かな子育て支援施策の充実
- 4 保育サービスの充実
- 5 多様化する子育て家庭への支援

安心して子育てができる環境を整えるため、「次世代育成支援後期行動計画(22~26年度)」の進行管理を行い、計画を推進します。また、父親向けの子育て講座を実施するなど、父親の育児参加の推進と機会の提供に努めます。

「上田市保育園等運営計画」に基づき、老朽化の著しい保育園から計画的な施設整備に着手します。

地域の子育て支援の拠点として、子育て支援センター事業の充実を図ります。また、「ひとまちげんき・健康プラザうえだ」を核として、発達が気になる子どもに対する支援を推進します。

保育サービスの充実を図るために、一時預かりや休日保育などの特別保育の利用料や料金体系の見直しなどを行い、利便性の向上を目指します。

引き続き児童虐待の予防と虐待の早期発見、および適切な対応のための体制づくりや、ひとり親世帯への支援充実を図ります。



4月1日に開園した泉田保育園

## 健康福祉部

### 23年度重点目標

- 1 地域医療提供体制確立と安心して出産が迎えられるための取組
- 2 生涯健康ではつらつと暮らせる健康づくり事業の推進
- 3 地域において安心して暮らせるための福祉の充実
- 4 第4期高齢者福祉総合計画の推進と第5期高齢者福祉総合計画の策定
- 5 国保財政の健全な運営と保健事業の充実

信州上田医療センターと連携し、地域医療を守り、医師の負担軽減の支援を行います。また、新産院の開設に向け、安全で質の高い医療サービスの提供体制の確立を図ります。

総合保健センター、および温泉施設などを拠点に、健康づくりなどの事業展開を図り、特定健診やがん検診などの受診勧奨を実施します。

生活困窮者に対する支援や「障害者基本計画」に基づく障がい者への支援体制の整備と強化を図ります。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護保険施設の基盤整備と地域包括ケアの推進を図ります。また、介護保険や国民健康保険などの健全な財政運営の確保を図ります。



ストレッチして腰痛改善

## 消防部

### 23年度重点目標

- 1 消防団活動体制の整備・充実による防災力の向上
- 2 市民への防火対策の強化および応急手当知識の普及促進
- 3 消防水利の充実・強化

安全・安心のまちづくりには、市民誰もが自分たちの地域は自分たちで守るという考え方で知識が必要です。

このため、地域に密着した活動により、地域の防災力の要となる消防団の活動拠点施設や消防装備の充実強化を図り、引き続き消防団員の確保に努めていきます。

市民一人ひとりが防災の担い手となっただけのため、自主防災活動の指導促進を図るとともに、子どもたちへの防火防災知識の普及を図ります。

防火水槽、消火栓などの消防水利施設を計画的に整備し、防災力の向上を図ります。

救命率の向上のため、広域消防本部の救急業務の強化と、AEDの使用方法を含めた講習会を実施し、応急手当知識の普及促進に引き続き努めていきます。



消防団丸字第5分団  
詰所兼車庫

## 都市建設部

### 23年度重点目標

- 1 安全・安心な都市環境の整備
- 2 にぎわいと交流のまち創りに向けた道路網の整備・促進
- 3 鉄道、バスなどの公共交通の維持および活性化
- 4 生活快適都市を目指したまちづくり計画の推進
- 5 潤いのある快適な生活環境の創出

災害に強い安心して住めるまちづくりを進めるため、矢出沢川および神科台排水路などの総合治水対策や民間住宅・避難施設などの耐震化とアスベスト対策の推進、公共建築物の耐震補強、住宅リフォーム補助による住環境の向上などに取り組めます。

国道18号上田バイパスや都市環状道路とそれを補完する市道や、交流・文化施設建設予定地周辺の交通円滑化と安全性確保に向けた道路網の整備を促進し、にぎわいと交流のまち創りを進めます。

別所線や路線バスなど、公共交通について、「乗って残す」を基本に利用を促進し、新たな国の補助制度を活用して、維持および活性化を図ります。

生活快適都市を目指し、都市計画マスタープランおよび景観計画の策定に取り組めます。また、市民協働による花と緑のまちづくりを推進し、潤いのある快適な生活空間を創出します。



耐震補強工事例  
(神科小学校南校舎)

## 農林部

### 23年度重点目標

- 1 農村の環境整備、生産基盤整備の推進
- 2 地産地消と都市農村交流の推進
- 3 豊かな森林の未来への存続
- 4 農地の有効利用と遊休農地の解消
- 5 農業施策の基本となる「上田市農業振興マスタープラン」の策定
- 6 農業者戸別所得補償制度の推進と実施体制の整備

安定した農業生産を促進するために、用排水路や農道等の施設整備を行い、適正な維持管理に努めます。また、遊休荒廃農地の解消や、農地の有効利用を市内全域で促進し、生産基盤の確保に努めます。

地産地消の促進を図るため、農産物直売所の充実、学校給食、宿泊施設などにおける地元農畜産物の消費拡大を図るとともに、都市農村交流を通じて農産物の販売を積極的に行います。

農業者戸別所得補償制度により、水田や畑地における麦・大豆・そば等の生産振興と食料自給率の向上を図ります。

森林の健全な育成を図るため、森林税を活用した間伐を実施し、里山の整備を推進します。

また、有害鳥獣の捕獲を促進するとともに、進入防止柵の設置などにより、鳥獣害の発生しにくい環境整備を積極的に行います。



稲倉棚田での大宮北高校  
の田植え体験

## 武石地域自治センター

### 23年度重点目標

- 1 災害に強い地域づくりの推進
- 2 武石番所ヶ原スキー場のリニューアル
- 3 武石地域全域公園化構想による地域づくり
- 4 市民協働による獣害柵と緩衝帯の設置支援
- 5 雲溪荘の今後のあり方についての検討

恵まれた自然を生かし、安らかで豊かな地域づくりを目指します。

災害に備えて援護が必要な方のリスト作成や情報の伝達、避難方法の検討を行うほか、防災拠点施設である地域自治センターの整備も検討します。

武石地域の魅力向上のため、番所ヶ原スキー場の整備を進め、雲溪荘の今後について検討を深めます。これまで推進してきた市民主体の都市と農村の交流や農林業の体験活動の充実を図り、訪れる人の拡大と満足度を高めます。

平成21年度に地域協議会が提案した「武石地域全域公園化構想」は、自治会や団体の協力のもと、手づくりの実践が始まっています。地域に暮らす市民と協働の輪を広げ、田畑や野山、河川などを公園のように整備し、獣害から守り、美しいふるさとを創造して、より地域が好きになる活動を武石全域に広げていきます。



自治会、高齢者クラブ、PTAなどの協働による植栽や環境整備の推進

## 真田地域自治センター

### 23年度重点目標

- 1 地域協議会の運営支援と活動状況の発信
- 2 真田地域の観光・農業振興戦略プランの策定
- 3 地域公共交通の推進
- 4 災害時要援護者登録制度の推進
- 5 公民館を中心とした文化活動の推進

真田氏発祥の郷としての歴史・観光資源を生かしたまちづくりを目指し、観光戦略プランの策定に取り組み、魅力ある農業を確立するための農業振興戦略プランも策定し、地域協議会に報告・協議します。

第3期を迎えた地域協議会も、分科会ごとにテーマを定め、引き続き「地域まちづくり方針」の具体化のための協議が進められます。その調査研究を支援するとともに、活動状況を積極的に発信します。

近年、乗客が減少している路線バスの維持存続に向け、利用促進を啓発するために住民・事業者・行政が一体となった組織の立ち上げを図ります。

安全で安心な地域を確立するため要援護者登録制度の取組を進め、災害発生時のみならず日頃から地域の助け合いの心の醸成に努めます。

市民の文化活動への参加と文化意識の向上を目指し、総合文化祭などにおける公民館と文化団体等の連携を深めます。



地域の足として欠かせない路線バス

## 丸子地域自治センター

### 23年度重点目標

- 1 安全で安心して暮らせる地域づくり
- 2 地域の魅力広がる観光・温泉地づくり
- 3 魅力ある丸子地域の街なかづくり
- 4 元気な産業をはぐくむまちづくり
- 5 明るく親切的なセンターづくり

住民誰もが安全で安心して暮らせる地域づくりを目指し、通学路を中心とした防犯パトロールの実施や、要援護者登録制度の拡大による隣近所同士で助け合いができる体制づくりに取り組みます。また、大雨による災害に備え、排水路新設工事などを実施します。

丸子温泉郷を核に、リハビリテーション医療や、ワイン用ぶどう畑などの資源を連携して誘客を図り、魅力的な観光・温泉地づくりに取り組みます。

まちづくりグループの中心市街地再生事業を支援し、魅力ある街なかづくりを進めます。あわせて、歩道のバリアフリー化など、街なかの整備を進めます。

神の倉工業団地への企業誘致や農工商が元気なまちづくりを推進します。

行政は市民に対するサービス産業と捉え、来てよかったと感じていただける地域自治センターを目指し、職員一丸となって取り組みます。



マリコヴィンヤードのワイン用ぶどう

## 教育委員会事務局

### 23年度重点目標

- 1 「上田市教育支援プラン」の推進と見直し
- 2 学校施設の耐震化推進と教育環境の整備
- 3 市民による文化の力の結集と地域文化財の保護・継承
- 4 生涯学習の推進による地域の教育力の醸成
- 5 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備

「上田市教育支援プラン」を推進し、同時に、プランの見直しも行います。

子どもたちが安全・安心な環境で学び育つために、学校施設の耐震化を優先的かつ計画的に進めます。

交流・文化施設建設を地域文化の更なる向上につなげるため、利用者団体協議会を設立し、市民参加の環境づくりを進めます。また、市民団体などと連携した事業を通して、市民の豊かな文化芸術活動を支援していきます。

城南公民館や丸子図書館の建設など、生涯学習活動の環境整備を行うとともに、市民が生涯学習活動を身近に実践できるよう生涯学習に関する情報提供の一元化を目指します。

新たなスポーツ振興計画に基づき市民意向調査・実態調査を実施し、生涯スポーツ社会の実現に取り組みます。



親子で本に触れ合う  
(真田図書館のおはなし広場)

## 上下水道局

### 23年度重点目標

- 1 災害に備えた施設づくりと危機管理マニュアルの見直し
- 2 経営効率化の推進
- 3 上水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給
- 4 快適で持続可能な水環境の創造と資源の地域循環の推進
- 5 塩田、川西地区の県営水道の統合推進

上下水道事業は、市民生活にとって欠くことのできない事業です。

大規模災害に備えて耐震管の布設、危機管理マニュアルの見直しなどを行い、経営効率化と安定した経営基盤の確保のため、新たに「事業見直しシート」を作成します。

上水道については、安全で安心して飲めるおいしい水を安定供給するために簡易水道の統合を進め、下水道については、良好な水環境の保全のために未整備地区の整備を早期に行います。

さらに、資源の地域循環を推進するため、浄水場堆積物を再生土に、農業集落排水汚泥を焼成肥料に利用することに取り組みます。

また、塩田・川西地区の県営水道の統合については、諸課題を引き続き検討していきます。



染屋浄水場

## 会計管理者組織

### 23年度重点目標

- 1 適正な会計事務の執行
- 2 公金管理事務適正化への継続的な取組

公金の管理に万全を期し、公正で適正な会計事務を行うことは信頼性の高い市政の確立につながります。

会計管理者組織では、市役所の予算の執行が、法令等に定められたとおり正しく行われているか厳正な審査を行うとともに、迅速な支払いができるよう努めています。

公金の取り扱いの適正化を図るため、現金取扱窓口になっている課所については、平成23年度も、引き続き管理や保管について実地検査を行い、常に緊張感をもって公金管理事務が行われるよう指導を徹底していきます。

また、研修等を積極的に行い、市役所職員全体の財務会計事務能力の向上と事務の効率化、公金意識の徹底を図ります。

資金運用については、安全確実かつ効率的な運用に努めていきます。



適正な収入・支出のためのチェック

# 地域医療再生を目指して

## 地域医療の未来の姿

信州上田医療センターがどのような医療体制を目指していくのか、また、地域の救急医療や上田市産院をはじめとする周産期医療体制をテーマに、信州上田医療センターの森哲夫院長、同院内に4月に開設された地域医療教育センターの吉澤要部長、母袋市長による座談会が4月27日に行われました。その内容をお知らせします。

### 信州上田医療センターの現状

**市長** 最初に、4月に長野病院から信州上田医療センターに名称変更されましたが、その理由をお聞かせください。

**森院長** 私が院長に就任した際に、独立行政法人の機構本部の理事長から「長野病院」という名称は、県外の人からすると、どこにあるのか分からないのではないかと指摘がありました。上田という名前が付いた方が、身近な自分たちの病院という意識が強くなると思います、色々な方とご相談して、「信州上田医療センター」としました。

**市長** 信州上田医療センターの現況についてお聞きます。まず、現在の医師体制についてお話しください。

**森院長** 平成9年の開設当初は50名の体制でした。全国的な医師不足により、当院も20年には32名まで医師が減ってしまいました。様々な原因が考えられますが、一番は、新臨床研

修制度が16年から始まったことだと思っています。これにより、医師が都市部に集中し、地方の医師が不足する偏在が生じ、大学病院から産婦人科医や麻酔科医が引き上げられてしまいました。この間、行政にも色々ご支援いただき、現在は研修医も含めまして43名でこの4月からスタートできました。その中でも、今年度、研修医が二人加わったことが非常に大きいと思います。昨年10月には、信州大学から地域医療教育センターの部長として吉澤先生を、今年1月に脳外科の准教授であった酒井先生を迎えられました。そういう意味から、当院も非常に充実してきていると思っています。

**市長** 地域住民としても良い状況になってきたと思います。旧長野病院の歩みは色々な変遷がありました。貴院でいうことが大事だと思います。貴院では数年後の姿をブランドデザインとして公表していますが、その概要を



吉澤要

(よしざわ かなめ)  
地域医療教育センター部長



森哲夫

(もり てつお)  
信州上田医療センター院長



母袋創一

(もたい そういち)  
上田市長

お話しただけですか。

**森院長** グランドデザインは平成20年に策定しました。内容は当院のホームページに掲載しています。概要は、まず、医師数については約60名前後の体制で診療を行う。それから、国の医療計画に基づき、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病の4疾病を中心に診療を行うということが決められています。これらの医療を地域住民に提供できることが一つの大きな目標です。できるだけ、上小地域の中で完結できる医療。信州大学や佐久総合病院に行かなくても完結できる医療を目指したいと思います。

## 地域医療再生事業の取組

**市長** グランドデザインを実現するには様々な力、支援が必要だと思えます。昨年1月に、上田地域の地域医療再生計画を国と県に採択していただきました。信州上田医療センターがこの地域医療再生事業で目指すものは何でしょうか。

**森院長** 地域医療再生計画には大きく四つの柱があります。救急医療、周産期医療、医師確保、それからネットワークを用いた医療機関同士の地域連携です。この4月からは、医師確保のために当院に、地域医療教育センターを設置しました。これは、信州大学と協定を結び、キャンパスの一部をこちらに持つてくる形で指導医や研修医を確保していく。こ



地域医療教育センターでの気管内挿管の訓練の様子。

の計画が一つの大きな柱になっていて、今後これを実現していきます。

**市長** 医師を育てる。人を育てるという重要性。この中で地域医療教育センターが果たす役割は重く、画期的な状況になってきたと理解します。そこでこの4月に新たに開設された地域医療教育センター吉澤部長から、教育センターについてご紹介いただけますか。

**吉澤部長** 地域医療教育センターはできたばかりですが、やはり地域医療再生の核となるのは、医師や看護師といった医療スタッフを確保し、しっかりと教育することです。それを行うのが教育センターです。また、市民公開講座などを開き、市民に開かれた病院をつくることも役割だと思っています。

**市長** 地域医療教育センターの具体的

な取り組みはどのようなものでしょうか。

**吉澤部長** 部長の私と教育担当の看護師長と秘書が専任でおります。各診療科の指導医、検査、栄養、その他病院全体で取り組んでいます。その中で一番大事なのは、研修医の教育プログラムを立て、各診療科との調整を図り総括するという役割です。具体的な取り組みの一つとして、シミュレーターという人体模型を使い、例えば救急蘇生や心臓マッサージ、気管内挿管、心臓除細動といった訓練を行います。基本的な採血の訓練もします。研修医や新人看護師がこうした訓練を行うことで、自信を持って実際の医療現場で、患者さんに対処できるようになります。

**市長** すばらしい研修設備が整備されたということですね。教育センターができることによって、研修医とかが医師のメリット的なもの、また市民への影響という視点で考えますとどのようなことがあるのでしょうか。

**吉澤部長** まず研修医ですね。医師は免許を取得した後2年間、研修医として研修をします。この2年間をいかに教育するかということは、その人たちの今後の医師人生を決める上で非常に大切です。研修医を我々医師だけではなく、病院全体で育てることが必要です。そのために医療スタッフによる研修医の教育委員会をつくり、どのように研修したら良いかということを考えながらやってい

きたいと思っています。医師にとつては、やはり人に教えることは自分にとつても非常に勉強になる。更に研鑽することになるので、メリットがあると思います。市民にとっては医師の数が増え、医師にゆとりができて、若い先生から中堅の先生、経験豊富な指導医の先生と一緒にあって患者さんを診られるというのは非常にメリットがあることだと思います。

**市長** 先ほど、グランドデザインで医師が60名の体制という話がありました。現状は研修医を入れて43名ということですが、今後の医師確保に着実に、結びついていくのでしょうか。

地域医療教育センターでの採血訓練の様子。





信州医療センターは、上田市の応接室で、会談会が行われた。

### 吉澤部長

一つ例を出しますと、飯田市立病院です。飯田市は上田市とほぼ同程度の人口。研修医を入れて医師が100名以上います。研修医だけでなく10数名います。研修医をしっかりと集めて指導していくと、指導医も集まってきて、医師の数が増えてきます。地道に研修医をしつかりと

指導していくことで、だんだんと医師を集めていくことができると思います。

**市長** 次に院長にお聞きしたいのですが、脳卒中・脳腫瘍センターが始まったとお聞きしていますが、内容をご紹介します。

**森院長** この1月に信州大学から赴任していただいた酒井先生のご専門が脳腫瘍で、信州大学では下垂体の腫瘍なども含めて多くの手術をされています。最近では脳卒中の中でも脳出血が少なくなつて、脳梗塞が多くなつてきています。脳梗塞の場合には、早期に診断をして、血栓溶解療法という治療をしていかないといいけません。当院では今までも脳梗塞の治療は行っていました。もう少し体系的に看護師や他の医療スタッフを含めた脳卒中・脳腫瘍センターを設け、地域の脳血管障害の患者さんでできるだけ早く発見し、治療していきます。それから、当院では今まで脳ドックを行っていませんでした。脳の疾患というのは症状がなくても、健診をすると、色々な異常が発見されるということがありますので、一つのサービスとして脳ドックを6月頃から開始したいと思っております。

**市長** 新しい設備も導入されて、新たな診療ができるというのは、大変うれしい話です。医療の再生は短期間ではできません。特に再生事業は21年度から5年間という期間が区切り

れています。しかし、森先生をはじめ、信州大学の先生方のお話しでは、地域に医師が充足する一つの目的は10年間とお聞きするわけです。そういう中で、上田市を中心に東御市、長和町、青木村、坂城町も含めまして、この地域で、基幹病院たる信州上田医療センターを応援していく必要がある。信州大学も応援していくかなければならないと思います。こうしたことから、県、信州上田医療センター、信州大学、地域で協定が結ばれました。具体的には、医療再生計画が終了した26年度以降、5年間ぐらいを目途に地域で財政的な支援をしていく。したがってまずは5年間の成果というものを出していただく中で、我々も具体的な内容を検討していきたいと思えます。よろしくお願ひします。



地域医療教育センターでの心臓マッサージ訓練の様子。

### 周産期医療体制

**市長** 地域のもう一つの大きな課題が周産期医療の充実です。中でも産科におきましては、市としても一翼を担う、上田市産院がござります。産院についても、過去に医師引き上げから始まって様々な課題がありました。産院が、何とか乗り切ってきました。昨年度、信州上田医療センターのすぐ隣の土地が用意できたので、まず、立体駐車場を作らせていただき、現在、本体の建物を建設中です。そのような中で、周産期医療における信州上田医療センターの役割ですが、周産期ということですから、産科に限らず小児科や麻酔科などが関係すると思えますが、貴院としてどのような役割になるのかお聞きします。

**森院長** お産というのは一般的には正常に生まれて普通というように考えられているのですが、実は10人に一人は異常な出産になります。例えば、未熟児で生まれてくる。あるいは、100人に一人は治療を施さないと死に至るような事態になる赤ちゃんもいる。そういった意味でお産というのは、いつ異常に進むかわからないという危険性があります。従って、できるだけ安全にお産していただくためには小児科医、あるいは緊急で手術をする場合は麻酔医も必要になるわけです。しかし、産院独自で小児科医や麻酔医を雇うという事は非常に大変なこととして、やはり、

地域の医療資源を有効に利用し、医療を提供することが現実的です。そういう意味では、当院のすぐ隣に産院ができますので、異常な事態に、すぐにお手伝いができる。当院の小児科医がすぐ行って対応する。あるいは赤ちゃんを当院に搬送していただく。緊急の帝王切開が必要な場合には、すぐに搬送していただく。そのようなことが近くであれば比較的安全に行え、安全・安心なお産を提供できるのではないかと。そういった意義があると思います。

**市長** 妊婦さんの立場からすると安心感につながるわけですね。近くに二つの病院が隣接してできるという意義は本当に大きなものだと私自身も感じております。上田市産院は公的な病院の中で、全国で唯一の単科病院です。だからこそ、産院を大事にして、継続していきたいと強く思っています。産院の名誉院長としてお迎えできた田中先生のネットワークをお借りしながら、医師確保の課題に引き続き取り組んでいきたいと思っています。そこで、信州上田医療センターとして産院に期待する点とはどんなものがありますか。

**森院長** 産院は基本的には正常分娩のお子さんの出産を担当してもらおう。できるだけ母親の希望を受け入れて、安心で安全なお産を心がけてもらおう。私どもの病院は基本的にはハイスクの分娩ですね。その辺の住み分けを少しずつ行っていければと

思います。

**市長** 最後に地域医療ということでもそれぞれお話しただけだと思います。私は、限りある医療資源をどのように有効に使い、力を発揮してもらおうかということを考えて場合、市町村単位で単独で医療施策を行うということは難しくなってきたり、強く感じています。とりわけ入院を要する重症患者を扱う二次医療、特に重篤な患者を扱う三次医療と高度になればなるほどそんな思いを強く持ちます。これから必要なのは地域連携だと考えていますが、地域連携医療の中で両先生から見ても、大切だと思うこと、また希望などがありましたら、お聞きしたいと思います。

**森院長** 市長がおっしゃった医療資源を有効に活用することは非常に大切なことです。私は昨年、上田市内13地区を回って、地域の人たちに色々お話をしました。ちょっとした病気で当院に来ていただくということではなく、まずはかかりつけ医を受診していただき、そこから当院を紹介していただく。また、救急医療には、一次、二次、三次という流れがあります。あるいは、夜間などの救急では、内科・小児科初期救急センターや輪番病院の制度があります。輪番では対応しきれない患者さんを当院に紹介していただく。そういった医療機関の役割に沿った流れが大事だと思います。そして、上小地区は上小圏外の医療機関を受診する患者さ

んが多い。そういった意味では、信州上田医療センターをできるだけ利用していただき、当院を可愛がっていただきたい。医師不足解消については、上田地区に来ていただく医師が増えるような街づくりを行うことも地域として大事なのではないかと思っています。

**吉澤部長** 地域医療教育センターでは、当院の教育だけではなく、地域全体の医療のレベルアップのための教育をしていかなければならないと思います。他の医療機関のスタッフの教育、あるいは救急救命士。将来的には色々な方を教育できるような教育センターにしていきたいと考えております。地域医療の全体のレベルアップも大事だと思います。

**市長** やはり病院の立場、市民の役割、行政の立場や役割が、三者一体となることにより地域医療の理想形ができあがってくるという思いを強く感じました。森院長からは、医療について地域で完

結したいという思いを述べていただきました。行政としまして市民の皆様と共に広報活動をしなければいけませんし、さらには初期の救急体制の

整備についても万全を期していきたいと考えています。今回は地域医療座談会として地域や私たちが最も期待する信州上田医療センターの現状と未来の姿を森院長と吉澤部長をお迎えしてお話をいただきました。これからは、地域医療再生計画に基づく実行が求められてまいります。計画実現のために、それぞれの機関が役割を果たしながら、連携して地域医療の再生を図ることが必要だと改めて感じました。そのために上田市のみならず、周辺市町村間の連携を定住自立圏域として強化していかなければなりません。私はこの合意形成を計りながら、地域の最重要課題の医療充実とそして再生実現のために、更なる努力を傾注してまいりたいと考えております。両先生のこれからのご活躍をお祈り申し上げます。

信州上田医療センターの隣に建設が進む新しい産院。



## 伝統芸能「能」を楽しむ

### 第15回上田城跡能

平家物語の悲劇の武将として有名な「平敦盛<sup>あつもり</sup>」を題材とした能「敦盛」を始め、日本を代表する能楽師が演じます。また、囃子方には亀井忠雄さん(人間国宝)を迎えます。豪華出演者による幽玄の世界をお楽しみください。

やさしい解説と体験で能楽が楽しく学べる「能楽講座」は、一般の方も聴講できます(入場無料)。

- 日時** 8月20日(土)
  - ・能楽講座/正午～午後0時45分
  - ・本公演/午後1時30分～
- 場所** 上田市民会館ホール
- 演目(出演)** 能「敦盛」観世喜正、狂言「昆布売」善竹十郎、能「恋重荷」観世恭秀
- 鑑賞券** 全席指定 A席3,500円、B席3,000円  
 ※能楽講座は、6月下旬に、対象となる市内小学5・6年生および中学生に、学校を通じて申込書を配布しますので申し込みください。
- 発売場所** 琴光堂楽器店、上田市民会館、上田文化会館、丸子文化会館、真田中央公民館、文化振興課、イベントナガノ(インターネット販売)
- 発売開始** 6月10日(金)
- 関連企画** 上田市立博物館では、8月9日(火)～31日(水)、上田市指定文化財「浜村家能面コレクション」のうち、今回の能演目で使用する能面と同種のものを中心に展示します(上田城跡能鑑賞券提示で期間中入館無料)。

**問** 市文化振興課 TEL23・6361



## 森と遊ぼう!

### 別所温泉森林公園をご利用ください

別所温泉街から林道を車で5分、徒歩でも30分ほど登ったところに別所温泉森林公園があります。23haの園内にはキャンプ場、栗園などがあり、森には遊歩道も整備され、四季折々の花や木々の中を散策できます。また、秋には栗や松茸を味わうことができます。

食堂などの様々な施設も充実しており、今年5月には、公園内のトイレを、長野県産材を利用してリニューアルしました。ぜひご利用ください。

#### 主な施設

バンガロー(5棟)、キャンプ場、焼肉コーナー、テニスコート(2面)、森林総合センター、宿泊・研修施設、食堂(9月下旬～10月末まで。要予約)

**利用申し込み** 前日までに別所温泉森林公園へ(Tel38・2626)。

**休館日** 毎週火曜日(ただし、栗拾いと松茸料理は期間中無休)

※料金など詳細は、上田市ホームページに掲載しています。

**問** 市森林整備課 TEL23・5124



現在、土砂崩落のため林道岳の尾線は通行止です。野倉側からお越しの場合は、別所温泉街側へ迂回してください。



## 信州上田から元気を発信！ 「上田わっしょい」参加連を大募集

7月30日(土)に開催する市民の夏祭り「第40回上田わっしょい」に参加する「連」を募集します。真夏の夜に大勢の皆さんと爽快な汗を流してみませんか。

今年は40回の節目であり、原点回帰を趣旨に、最初の15分間は全参加連で「正調」を踊る予定です(新生上田市5周年記念事業)。

### 応募方法 「踊り連」「みこし連」「太鼓連」

所定の申込用紙に記入のうえ、FAXまたは電子メールで実行委員会事務局へ。申込用紙は、事務局へお問い合わせいただくか、上田市ホームページからダウンロードしてください。

### 応募締切 6月13日(月)必着

### 応募上の注意

#### ①「踊り連」

参加形態の「正調」または「オリジナル(創作)」のいずれの踊り方かを必ず明記。参加に必要な「灯ろう」のない連は購入(8,000円)するか、レンタル(1,000円)してください。別途ろうそく・和紙は実費負担(800円)となります。また、連を統率する責任者2名が着用する「勤番はっぴ」をお持ちでない連は、購入(1枚8,000円)または、レンタル(1枚500円)してください。

#### ②「踊り&衣装コンテスト」

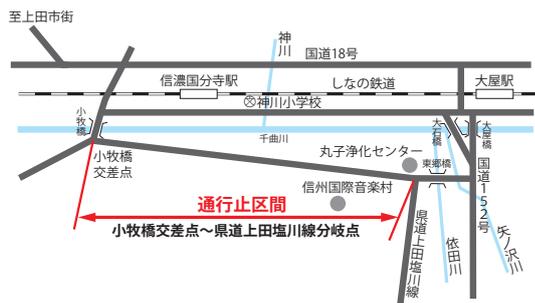
希望する連に限り審査を行い、表彰します。

また、正調の踊りを練習したい方にはビデオテープ、CDを貸し出します。

※参加連抽選会は、6月下旬に予定しています。詳細は申し込みの際にお知らせします。

問 上田わっしょい実行委員会事務局(☎観光課内) TEL23・5408

## 落石事故のため当分の間通行止めに 市道丸子小牧線



4月20日午後6時50分頃、生田の市道丸子小牧線(千曲川左岸斜面)で落石事故が発生しました。山側上部を調査したところ危険箇所が複数みられ、詳細調査や安全対策の検討のため、当分の間全面通行止めとなります。

ご不便をおかけしていますが、ご理解ご協力をお願いします。

なお、最新情報は上田市ホームページをご覧ください。

通行止区間 生田(県道上田塩川線分岐点)～小牧(小牧橋信号)の延長約2.6km

問 丸建設課 TEL42・1031

## 3車線から2車線に規制 県道 上田丸子線の古舟橋北側

矢出沢川の災害に伴う河川改修工事に関連して行う市道付け替え工事のため、主要地方道上田丸子線の常磐城3丁目交差点から古舟橋交差点の区間が、12月末頃までの約7か月間、現行の3車線を2車線に規制します。また、歩道は片側が通行止めとなります。

案内看板の指示に従い通行してください。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

なお、上田建設事務所および上田市ホームページにも掲載しています。

問 上田建設事務所整備課 TEL25・7170

☎土木課 TEL23・5126



### お知らせ

Information A La Carte

### 6月は「土砂災害防止月間」

土砂災害のほとんどは、長雨や大雨、雪解けが引き金となり発生しています。近年は、短時間に狭い範囲で大量の雨が降る「ゲリラ豪雨」が頻発しており、昨年は市内でも多くの浸水被害などが発生しました。気象庁から「土砂災害警戒情報」が発表されたとき、異常な状況を発見したとき、危ないと感じたときは自主的に避難しましょう。また、家の周りの危険箇所の確認や、万が一の場合に備えて避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

上田・丸子・真田地域は、「土砂災害防止法」に基づく「土砂災害警戒区域」「特別警戒区域」の指定がされています。上田市ホームページで区域図などを確認できますので、土砂災害ハザードマップとしてご活用ください。なお、雨量情報や土砂災害警戒情報は、長野県砂防課のホームページ「砂防情報ステーション」や下記の二次元コードから携帯電話で確認することができます。



防災情報提供センター  
携帯端末用二次元コード

問 市 危機管理室 TEL 21・0123

### 必ず受けましょう 犬の登録・狂犬病予防注射

4月に行った春の予防注射を受けられなかった犬を対象に、狂犬病予防注射を行います。生後91日以上の飼犬は、法律で定められた登録と毎年1回の狂犬病予防注射を受ける必要があります。

● 期日 6月26日(日)

● 場所/時間 上野が丘公民館/午前8時50分～9時20分、上田合同庁舎正面玄関前/午前9時40分～10時30分、塩田地域自治センター/午前11時10分～11時40分

● 費用 新規登録/6220円(注射料含む)、登録済/3220円

問 市 生活環境課 TEL 22・4140

### 三つの図書館が 特別整理のため休館

図書や資料の整理、蔵書の点検などの特別作業のため休館します。ご理解・ご協力をお願いします。

● 図書館名/休館期間

- ・ 上田図書館/6月9日(木)～16日(木)
- ・ 創造館分室/6月13日(月)～16日(木)
- ・ 丸子金子図書館/6月22日(水)～7月1日(金)

● 休館中の本の返却

返却ポスト、または他のエコール参加図書館(上田図書館、上田情報ライブラリー、丸子金子図書館、真田図書館、武石公民館図書室と東御

お知らせ

市、坂城町、青木村、長和町の各図書館をご利用ください。

なお、移動図書館車あおぞら号は通常どおり行います。

問 上田図書館 TEL 22・0880

丸子金子図書館 TEL 42・2414

### インターネットによる 本の予約が可能に

エコール参加図書館では7月1日から、インターネットを利用した新サービスを開始します。

インターネット予約サービスの利用申し込みをすると、パソコンや携帯電話などから、エコール参加図書館所蔵の本のうち、貸出中の本の予約申し込みや、自身の利用状況の確認をすることができます。また、予約した本が用意できた際は電子メールでお知らせします。

● 利用できる方 エコール利用者

カードのある満15歳以上の方で、パソコン、携帯電話などのメールアドレスのある方

● 利用料金 無料

● 注意事項 貸出禁止の本やAV資料などは予約できません。また、移動図書館車、創造館分室などの施設では、利用申し込みや本の受取館に指定することはできません。

● 利用申し込み 運転免許証・保険証など本人確認ができるものをご持参ください。

問 上田図書館 TEL 22・0880

### アクアプラザ上田 小川プールをオープン!

小川プール・サンデッキをオープンします。ぜひ、お出かけください。

なお、天候によりクローズする場合があります。

● 日時 6月18日(土)～8月28日(日)午

### 今月の表紙



#### 丸子少年野球大会が開幕

5月3日、平成23年度丸子少年野球大会が開幕しました。伝統ある40回目の大会に、丸子地域から7チーム、神川、川辺町、武石、長和町、青木村の合計12チームが参加。

開会式直後、昨年度優勝の塩川スポーツ少年団と昨年4位の川辺町野球部が対戦しました。

初回、塩川が先制したものの、川辺町が逆転し優位に試合を進めました。しかし、最終回に再逆転。5対4で塩川が勝利しました。

グラウンドに響く大きな歓声がスポーツシーズンの到来を告げ、子ども達は、真剣なまなざしでボールを追いかけていました。

シリーズ

うめちゃんが  
行く! ④



ロケ地の条件

今回のロケ地は、近所の公園。少し戸惑い気味のエキストラ・真田うめちゃんが、フィルムコミッション(FC)の職員に質問しました。

- うめ ここはいつも遊んでいる普通の公園だよ。
- FC ロケ地となる場所は、必ずしも観光地や名所・旧跡とは限らないんだよ。
- うめ じゃあ、どんな場所がロケ地の候補になるの？
- FC 台本の設定を満たしていることはもちろん、大切なのは撮影の協力(許可)が得られる場所かどうかということ。許可なしじゃ撮影ができないからね。
- うめ どうやって探すの？
- FC 作品の条件に合いそうな場所を探すことをロケハン(ロケーション・ハンティング)というんだけど、実はここがFCの腕の見せどころ! あちこちにアンテナを張り巡らし、何度も足を運んで、撮影に使えるか様々な面から検証するんだよ。
- うめ でも、こんな何も無い公園がロケ地になるなんて驚いた。
- FC 撮影隊・ロケ隊にとって、ビルや鉄柱など余計なものに邪魔されない「何も無い」場所というのは意外と貴重なんだ。
- うめ 上田のロケ地ではどんな場所が人気なの？
- FC 例えば養蚕期の建物や風景は、ロケ隊にも人気が高いね。上田市がロケ地として多くの監督に好まれてきたのは、撮影の受け入れ体制が整っていることが大きな理由なんだ。市民も協力を惜しまない。だからロケ隊も気持ちよく撮影できる。これはとても重要なことなんだよ。
- うめ 私も協力します!!
- FC ありがとう。でも一番の協力は騒がずに見守ることかもね。



映画「犬神家の一族」(2006)  
柳町にてロケハン中の市川組(スタッフ)

問 信州上田フィルムコミッション TEL23・5408

前10時〜午後5時  
●場所 アクアプラザ上田  
問 アクアプラザ上田  
TEL26・26266

平成23年度「出前講座」で職員が出向きます

「出前ときめきのまち講座」は、職員が市民の皆さんのもとに出向き、市政に関する情報提供や、地域の学習のお手伝いをさせていただきます

ます。平成22年度は、約6100人の方が受講しました。今年度は、「コミュニティ・自治」「産業・経済」「自然・文化」「生活環境」「福祉・健康(男女共同参画)」「教育」の7分野、約100講座があります。お気軽にお問い合わせください。

詳しくは、平成23年度版出前講座パンフレットをご覧ください。

●申込対象 市内在住または在学・在勤の5人以上の団体・グループ

●料金 無料

●パンフレット設置箇所 生涯学習課、市内各公民館・図書館、各地域自治センター各担当課窓口などに設置。上田市ホームページにも掲載しています。

※パンフレット希望の方には、郵送、FAX、メールなどでお送りします。

問 市生涯学習課 TEL23・6370

国民宿舎鹿月荘  
臨時休館のお知らせ

館内修繕工事のため、6月27日(月)〜7月1日(金)までの5日間が休館となります。ご了承ください。

問 上田市国民宿舎鹿月荘  
TEL44・22066

## 県産材を活用した住宅・建築物の補助活用を

県の「信州の木活用促進支援事業」により、信州木材認証製品センターが長野県産材と認証した製品を利用し、住宅・建築物を新築・増改築・リフォームした場合、利用量に応じて補助を受けることができます。

●募集締切 12月31日(土)(予算がなくなり次第募集終了)

●補助金 最大40万円(県産材利用量に応じて補助率は異なります)

問 信州木材認証製品センター  
TEL 026・226・1471

## ホタル発生情報をお知らせください

市では毎年、きれいな水辺の象徴であるホタルの発生状況を地図に表示した「ホタルマップ」を作成しています。2011ホタルマップの作成に向けて、皆さんからのホタル発生情報をお待ちしています。

●提供方法 FAX(23・5981)、Eメール(hotaru\_map@city.nedanaگانo.jp)、郵送(〒386-0024 大手2丁目4-10 上下水道局下水道課宛)、電話など。

●提供内容 ①発見した日時、②発見した場所(〇〇川の〇〇橋付近)など、簡単な地図の添付も、③ホタルのおおよその数、④提供者の住所、氏名、連絡先(匿名でも可)

問

- 市 下水道課 TEL 23・5128
- 区 上下水道課 TEL 42・1057
- 区 上下水道課 TEL 72・4253
- 区 上下水道課 TEL 85・2825



## 女性のための、暮らしの中の悩みごと相談所

女性人権擁護委員が、女性に対する暴力やセクハラ、子ども同士のいじめ、家庭内の悩みごとなどの相談をお受けします。相談は無料で、秘密は堅く守られます。

●日時 6月25日(土)午後1時～4時

●場所 上田情報ライブラリーセミナールーム

●対象 悩みごとのある女性  
●予約 不要  
問 上田人権擁護委員協議会(長野地方事務局上田支局内)  
TEL 23・2001

## 介護者の会 なのはな

●日時 6月27日(月)午後1時～3時  
30分

お知らせ/催し

●場所 市役所南庁舎6階真田・千曲・太郎の間

●内容 介護教室「パドル体操でリフレッシュしましょう」、介護者同士の交流会、個別介護相談(希望者のみ)。  
※パドルとは、長さ64cmほどのしゃもじ形の運動補助具です。

●講師 翠川僚子氏(パドル体操指導士)

●対象 介護をしている方、または介護について学びたい方

●参加費 無料

●申し込み 6月24日(金)までに電話で高齢者介護課、または丸子地域自治センター健康福祉課へ。

問 市 高齢者介護課  
TEL 23・5140  
区 健康福祉課 TEL 42・0092

## 上田低肺友の会

肺の病気により肺機能の低下がある方や、在宅で酸素療法を受けている方など、呼吸器障害に悩む患者さんと家族の学習と交流会です。会員以外の方も、気軽に参加ください。

●日時 6月28日(火)午前10時30分～午後3時30分

●場所 別所温泉あいそめの湯  
●内容 交流会、健康体操、入浴、顧問医師(鹿教湯三才山リハビリテーションセンター名誉センター長・小林俊夫氏)による日常生活

上の助言。

●参加費 1000円(昼食代とおやつ代。入浴する方は別途入浴料が必要)

●申し込み 6月20日(月)までに電話で健康推進課へ。

問 市 健康推進課 TEL 28・7124

## 第1回やすらぎの会 (乳房手術経験者の会)

●日時 6月8日(水)午前9時30分～(2時間程度)

●場所 ひとまちげんき・健康プラザうへだ

●内容 近況報告や悩みの相談などの交流会

●対象 乳房手術経験者とその家族

●参加費 無料  
●申し込み 不要  
問 市 健康推進課 TEL 28・7124

## 催し

Information A La Carte

## ルポワッソンコンサート チェロと琴の響き

一度は生で聴いてみたい、クラシックから話題の曲のプロの演奏をお楽しみください。楽しい演奏参加コーナー「みんなでセッシヨンをしよう!」もあります。

●日時 6月12日(日)午後6時30分～8時頃  
●場所 真田図書館

市 上田市役所 tel.22・4100(代) fax.25・4100(代) 丸子地域自治センター tel.42・3100(代) fax.43・3666(代)  
 真田地域自治センター tel.72・2200(代) fax.72・4140(代) 武石地域自治センター tel.85・2311(代) fax.85・2313(代)

**上田市学童野球大会**  
 青少年育成活動の一環として、軟式野球大会を実施します。子どもたちの元気いっぱいプレーを応援しましょう。  
 ●期日 7月23日(土)・24日(日)・30日(土)・31日(日)  
 ●場所 県営上田野球場ほか  
 ●内容 トーナメント形式の軟式野球大会  
 ●対象 市内小学生の野球チーム(育成会・学校単位で)  
 ●参加費 1チーム30000円(開催前の責任者会議で徴収)



ルポワッソン Le Poisson

演奏 Le Poisson〔柳澤康司(チェロ)、竹内恵(琴・ピアノ)〕  
 ●演奏曲目 無伴奏チェロ組曲第2番より(パッサ)、G線上のアリア(パッサ)、朧月夜(岡野貞一)、愛の挨拶(エルガー)ほか  
 ●定員 70名  
 ●参加費 無料  
 ●申し込み 電話で真田図書館へ。  
 真田図書館サポーターの会(真田図書館内) TEL72・8080

**市民フェスティバル**  
 「市民フェスティバル」男女がつかるいきいき上田」では、交流会や、ラジオ「永六輔の誰かどこかで」などでおなじみの遠藤泰子さんの講演会などが行われます。

市民フェスティバル

●申し込み 7月4日(月)までに、申込書に必要事項を記入し、体育課、または丸子総合体育館、真田・武石地域教育事務所へ。  
 問 市 体育課 TEL23・6372  
 ●日時 6月24日(金)午後1時30分～3時30分(1時間開場)  
 ●場所 池波正太郎真田太平記館交流サロン  
 ●講師 鶴松房治氏(池波正太郎記念文庫指導員)  
 ●定員 60名  
 ●参加費 無料(入館料別途必要)  
 ●申し込み 6月20日(月)までに、電話で池波正太郎真田太平記館へ。  
 問 池波正太郎真田太平記館 TEL28・7100

サロントーク

春の企画展「さし絵画家・中一彌百歳の軌跡」にちなんだサロントークを開催します。池波作品のさし絵を描いた中さんについての話をお楽しみください。  
 ●日時 6月24日(金)午後1時30分～3時30分(1時間開場)  
 ●場所 池波正太郎真田太平記館交流サロン  
 ●講師 鶴松房治氏(池波正太郎記念文庫指導員)  
 ●定員 60名  
 ●参加費 無料(入館料別途必要)  
 ●申し込み 6月20日(月)までに、電話で池波正太郎真田太平記館へ。  
 問 池波正太郎真田太平記館 TEL28・7100

**塩田の郷マレットゴルフ場**  
 ●日時 6月25日(土)午前8時受付開始(雨天決行)  
 ●場所 塩田の郷マレットゴルフ場  
 ●定員 先着200名



遠藤泰子さん

●日時 6月19日(日)午前10時15分～午後3時30分  
 ●場所 中央公民館、市民プラザ・ゆう  
 ●内容 開会式(平成22年度上田市男女共同参画推進事業者表彰受賞団体の紹介)／午前10時15分～、小グループに分かれての交流会／午前10時50分～、アトラクション／午後1時15分～、講演会「女性が仕事を続けるとき」働く女性の今」遠藤泰子氏(フリーアナウンサー)／午後1時30分～  
 ●参加費 無料  
 ●申し込み 不要。ただし、託児希望は6月9日(木)までにご連絡ください。  
 ●その他 手話通訳、昼食販売あり。  
 問 市 人権男女共同参画課 TEL23・5245

**市総合体育大会 バレーボール(女子)の部**  
 ●期日 7月3日(日)  
 ●場所 上田城跡公園体育館、上田城跡公園第二体育館  
 ●参加費 1チーム30000円(バレーボール協会指定口座へ振り込み)  
 ●申し込み 6月16日(木)までに所定の申込用紙に必要事項を記入の上、体育協会事務局へ。  
 問 上田市バレーボール協会(青木) TEL090・4591・1178

**丸子金子図書館 おはなし会**  
 「菜の花会」の皆さんによる絵本の読み聞かせ、紙芝居、大型絵本の読み聞かせなど予定しています。お楽しみください。  
 ●日時 6月18日(土)午前10時30分～  
 ●場所 丸子金子図書館2階  
 問 丸子金子図書館 TEL42・2414

●参加費 10000円(飲食代、保険料含む。入場料別途。当日徴収)  
 ●申し込み 6月20日(月)までに電話で塩田の郷マレットゴルフ場へ。  
 問 塩田の郷マレットゴルフ場 TEL39・4455

### 募集

#### 平成24年4月1日採用予定の上田市職員を募集

試験程度	試験区分	採用予定人員	受験資格	試験科目
大学卒業程度	一般行政事務	若干名	昭和56年4月2日以降に生まれた方	教養 専門
	土木技術		昭和51年4月2日以降に生まれた方	
	保健師		昭和51年4月2日以降に生まれた方で、保健師または助産師の資格を有する方(平成24年3月31日までに資格取得見込みの方を含む)	
	助産師			
短期大学卒業程度	保育士A	昭和61年4月2日以降に生まれた方で、保育士の資格を有する方(平成24年3月31日までに資格取得見込みの方を含む)		
	保育士B (実務経験者対象)	昭和27年4月2日以降に生まれた方で、保育士の資格を有し、保育所の保育士または幼稚園の教諭として実務経験のある方		

- 受験申込 6月26日(日)～7月1日(金)午前9時～午後5時に、市役所(募集要項記載の受験申込会場)へ受験者本人が次の必要書類を持参してください(日曜日も受付。郵送は不可)。
- 必要書類 受験申込書、履歴書、80円切手貼付の封筒(合否連絡用に受験者の住所・宛名を記入。長形3号)、保健師・助産師・保育士区分の各受験者は資格免許証の写しまたは修了(卒業)見込証明書  
※受験申込書と履歴書は、人材開発課、各地域自治センターに設置されたもの、または上田市ホームページからダウンロードしたものを使用してください。
- 第一次試験 7月24日(日)午前8時30分～(8時受付開始) ☎ 市人材開発課 TEL23・5332



募集

<広告欄>

皆さまのご要望にお応えして

## 入院保障をさらに手厚くしました。

平成23年4月1日、県民共済の保障が改善されました。今回は、短期入院が増えている医療の現状に対応したもので、「総合保障型」の入院は日帰りを含む入院1日目からの保障にしました。

制度改善以前に加入された方も平成23年4月1日以降に開始した入院から改善後の内容で保障されます。

入金 そのままで  
平成23年  
4月1日  
制度改善

総合保障型に付加する「医療特約」では、入院日数に関わらずケガ・病気の入院に「入院一時金」をお支払いします。これですらに、より幅広く頼れる保障になりました。

**医療特約** ケガ・病気の入院に入院一時金をお支払い

**総合保障型** 今まで5日目からだった入院保障を入院1日目から保障(日帰り入院もカバー)

長野県民共済

[上田] ☎ 0268-24-3985(代)

〒386-1104 上田市福田下田9-33 FAX 0268-24-3902

資料請求はホームページからどうぞ。

長野県民共済

www.nagano-kyosai.or.jp/

※現金の口座振替については左の金融機関から必ず同一支店を指定ください。※ゆうちょ銀行の窓口ではお申し込みいただけません。

Information A La Carte

24

市 上田市役所 tel.22・4100(代) fax.25・4100(代)  
 真田地域自治センター tel.72・2200(代) fax.72・4140(代)

丸 丸子地域自治センター tel.42・3100(代) fax.43・3666(代)  
 武 武石地域自治センター tel.85・2311(代) fax.85・2313(代)

講座・教室

Information A La Carte

にこにこ赤十字  
健康教室

- 日時 7月8日(金)午前10時30分～午後2時30分(午前10時受付開始)
  - 場所 中央公民館
  - 内容 健康チェック・ストレッチ体操、応急手当の方法、寝たきり防止法など。
  - 対象 60歳以上の方
  - 定員 先着30名
  - 参加費 無料
  - 申し込み 7月1日(金)までに電話で福祉課へ。
  - その他 昼食は赤十字奉仕団で用意します。
- 問 福祉課  
TEL 22・4100(内線1990)

らいてう講座

- 開館6年目を迎えた「らいてうの家」が、今シーズンもオープンしました。「青鞥」創刊100周年の今年は、出前スタイルで開講します。
- ◇小宮山量平さんが語る「煤煙」事件の真実
- 日時 6月25日(土)午後1時30分～3時30分
  - 場所 エディターズ・ミュージアム(上田駅前若菜館3階)小宮山量平の編集室)

- 参加費 600円(入館料を含む)
- ◇米田佐代子館長が語る「青鞥」に登場した信州の女性たち

- 日時 6月26日(日)午後1時30分～4時
  - 場所 真田図書館
  - 参加費 300円
  - ◇共通事項
  - 申し込み 事前に電話でらいてうの家へ。
- 問 らいてうの家 TEL 74・1385

信州上田医療センター  
第59回市民公開講座

- 日時 6月11日(土)午後1時30分～4時
  - 場所 信州上田医療センター地域医療研修センター3階講堂
  - 講演 「最新の肝がんの治療」、「B型肝炎の最新の治療」、「C型肝炎の最新の治療」、「肝疾患診療ネットワーク」
  - 参加費 無料(参加者は駐車場無料、予約不要)
- 問 信州上田医療センター  
TEL 22・1890

認知症  
サポーター養成講座

認知症について理解を深め、認知症の人への応援者となる、認知症サポーターを養成する一般向けの講座です。すでにサポーターになっ

る方も受講できます。

- 日時 6月23日(木)午前10時～正午
  - 場所 市民プラザ・ゆう2階大会議室
  - 講師 中澤純一氏(NPO法人やじろべー理事長)
  - 対象 市内在住の方
  - 定員 先着50名
  - 参加費 無料
  - 申し込み 6月1日(水)から電話で高齢者介護課へ。
- 問 高齢者介護課  
TEL 23・5140

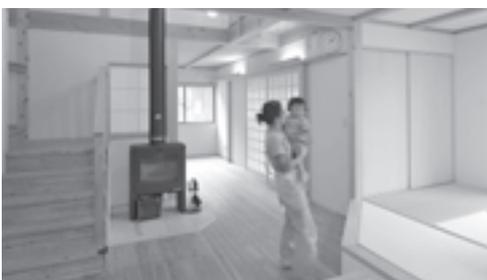
日常の疑問から  
調べ学習へ

袖ヶ浦市学校図書館支援センターの中村伸子さんを迎え、調べもの学習の取り組み、「わくわく塾」などについてお聞きし、ご指導いただきます。

- 日時 6月19日(日)午後1時30分～3時30分
  - 場所 上田情報ライブラリーセミナールーム
  - 定員 30名
  - 参加費 500円
  - 申し込み 6月3日(金)以降、電話で上田情報ライブラリー(Tel 29・0210)へ。
- 問 NPO法人上田図書館倶楽部  
TEL 25・3115

<広告欄>

## ぬくもりと笑顔あふれる、本物の住まい



太陽光発電 + OMソーラー  
光と熱を上手に使う  
ハイブリッド住宅です!

陽なたの家

秋和温泉様

上田バス

ファミランセ うえし様

レストラン ラ・ボンム様

長野計器様

西友様

至長野

上塩尻

至塩田方面

長野新幹線

至上田市街

至上田市街

当社は全棟 ★長期優良住宅  
★ふるさと信州・環の住まい  
で造ります!

**6月のイベント予定**

- 12(日) 住まい教室「お金の話し」
- 25(土)26(日) お住まい完成見学会

※詳しくはHPをご覧ください

陽なたの家 開館日:土曜・日曜・祝日 AM10:00~PM5:00  
モデルハウス 平日・上記時間外でもご連絡いただけましたら  
ご案内致します。

**美し信州建設株式会社**  
TEL 0268-27-6667

### 募集

## 30秒で上田の魅力を紹介 「2011うえだCMコンテスト」

上田をテーマに、上田の特徴や魅力を30秒のCMで表現しませんか。撮影は家庭用ビデオカメラでもOKです。

- 募集作品 上田の特徴や魅力、名物などを紹介する30秒間のCMで未発表作品。
- 作品規格
  - ・家庭用・業務用ビデオ、静止画像も可。
  - ・作品の長さは30秒間。一人何点でも応募可。
  - ・作品には必ず「20字以内のタイトル」を明記。
  - ・作品はDVテープまたはDVDで提出(返却しません)。

- 応募方法 応募用紙に必要事項を記入のうえ、作品と一緒に市秘書課へ(郵送可。〒386-8601住所不要)応募用紙は上田市ホームページからダウンロードできるほか、市役所や各地域自治センターにあります。

- 募集締切 9月9日(金)
- 表彰 優秀賞には賞状と副賞を、そのほか各賞に記念品を呈呈。

- 作品の放送 上田市行政チャンネルで放送するほか、優秀作品は長野朝日放送主催の「ふるさとCM大賞」へ応募します。

問 市秘書課 TEL23・5149

### 昨年度の応募作品から



「幸村の愛した町上田」  
上田高等学校放送班



「上田激走」長野県工科短期大学校  
情報技術科Bグループ



「帰りたい上田・行ってみたい上田」  
山崎建治さん

## メタボ解消と予防講座 健康セミナー

6〜1月まで毎月1回行います。途中からの参加もできます。

- 期日 1回目／6月20日(月)、2回目／7月22日(金)
- 時間 午前9時30分〜正午
- 場所 丸子保健センター
- 内容 1回目／栄養編(調理実習)、2回目／保健運動編(室内ででき

### 問

- 対象 おおむね65歳までの方
- 定員 各30名
- 参加費 1回目／200円、2回目／100円
- 申し込み 電話で丸子保健センターへ(持ち物などをご確認ください)。
- 丸子保健センター  
TEL42・1117

## 再就職支援 パソコンセミナー

テキスト「初心者のためのエクセル2010」を使用し、簡単な表作成などを学びます。

- 日時 6月14日(火)午前9時30分〜
- 場所 マルチメディア情報センター
- 定員 定員16名
- 対象 求職中の方

<広告欄>



# あおやぎ眼科

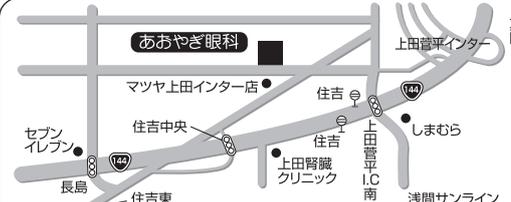
眼科各種手術 ●入院設備あります ●駐車場30台  
(白内障・緑内障・網膜剥離術・硝子体切除術・眼瞼内反症・眼瞼下垂症 等)

〒386-0002 上田市住吉577  
(マツヤ上田インター店前)

## TEL.0268(28)6688

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:00	×	○	○	○	○	○
午後2:30~5:00	○	手術	○	手術	手術	×

**休診日**  
日曜・祝日・月曜午前・土曜午後  
火曜午後(手術)・木曜午後(手術)  
金曜午後(手術)



# キラリ★輝く子どもたち!

## 地域の中で育ちあう子どもたち 僕たちにできることは何だろう

### 塩川保育園

塩川保育園は、丸子地域の北東に位置し、周囲を田んぼや畑に囲まれた、閑静な住宅地の中にあります。昭和32年に認可を受け、昭和54年に今の園舎に改築されました。塩川地域には、「ほたるの里」として有名な狐塚自治会や、諏訪社(明神様)や「御伊勢山」があり、現在64人の園児が、地域の豊かな自然の中で季節の移り変わりを体感しながら元気に通っています。

地域交流では、園から歩いて10分位のところにある「しおがわ敬老園」へ、年間で10回程訪問して、高齢者と交流しています。先日も、おやき作りを一緒に行うなど、貴重な体験をしました。子どもたちが「僕達にできることは何だろう」と考え、「歌や手遊び、一緒に遊ぶ、絵を描いてあげる」



市乃町神社で子どもたちが何か探しています。「見つかったかい」「ここにありそうだよ」

などの意見を出し合い、実践しながら交流を楽しみにしています。利用者の皆さんも心待ちにしてくださるようで、今後も継続していきたいと考えています。

また、当園では、年長児が和太鼓、年中児が太鼓に見立てた竹を叩く演奏に取り組んでおり、簡単なリズムから始めて、少し難しいリズムにも挑戦しています。友達と音を合わせる、気持ちを合わせるということも徐々にできるようになり、夏祭りや運動会で披露するほか、しおがわ敬老園の納涼祭や、地区の敬老会でも演奏しています。観客の皆さんから「上手だね」「うまいもんだ」と褒められることで、園児には大きな自信になるようです。子どもたちは家庭と保育園だけでなく、地域の皆さんにも見守られて大きく育っていきます。



しおがわ敬老園の納涼祭での竹と和太鼓の演奏

●参加費 無料(ただしテキスト代として1260円)

●申し込み 電話で雇用促進室へ。

※セミナーは、毎月開催しています。

詳しくは上田市ホームページ、広報うへだをご覧ください。

問 市雇用促進室 TEL 24・7363

### 子育て応援講座 リトミック

お子さんと一緒にリトミックで楽しく過ごしませんか。

●日時 6月30日、7月14日・28日、8月11日・25日の木曜日、午前10時～11時(全5回)

●場所 市民プラザ・ゆう会議室

●対象 1歳半～就学前のお子さん  
と市内在住、在勤の保護者

●定員 先着15組

●受講料 1500円

●申し込み 6月13日(月)午前10時以降、受講料を添えて市民プラザ・ゆうへ。

問 市民プラザ・ゆう TEL 27・2988

<広告欄>

SBCラジオにてCM放送中!

## 借務整理

「借り過ぎ」より「払い過ぎ」を見直しませんか

お電話ください  
お気軽に  
相談無料です

消費者金融・カードローン・クレジット・多重債務

### 借り過ぎでお困りではありませんか

払い過ぎ分を取り戻す 利息を引き下げる 業者の催促を停止する 支払いを一つにまとめる

無駄なく無理なく完済するまで私たちがサポートします

司法書士法人 あい和リーガルフロンティア

認定司法書士 影嶋 広志

0120-182-388

www.aiwa-law.com

長野事務所 / 長野市南千歳1-3-3 アレックスビル3F TEL.026-269-8777  
東京本社 / 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-6 プラザF1ビル202 TEL.03-5919-2444

あい和リーガルフロンティア 長野事務所

東急 ● シエルエ

長野駅

受付/9:00~19:00(月~土曜)

### 募集

Information A La Carte

#### 市内科・小児科初期救急センターの看護師を募集

- 任用期間 6月以降任用の日々平成24年3月31日
- 勤務地 上田市内科・小児科初期救急センター
- 職務内容・賃金など 月々土曜日の午後6時30分～11時30分、電話相談、診察補助など(勤務日、時間はシフトにより異なるので、応相談)。賃金は上田市非常勤職員設置要綱により支給します。
- 応募資格 小児科に勤務経験があり、小児の病気の電話相談を受けられる方。乳幼児の点滴ができる方。

- 募集人員 若干名
- 申し込み 6月30日(木)までに、健康推進課に電話で連絡後、履歴書を持参してください。

問 健康推進課 TEL28・7124

#### 健康づくり推進協議会の委員を募集します

- 応募資格 市内在住の20歳以上の方(公募により審議会へ参画できるのは一人1審議会まで)
- 募集人員 若干名
- 任期 委嘱の日から2年間
- 審議の内容 上田市食育推進計画策定に関し、市長の諮問に応じて

調査審議。上田市健康づくり計画の評価・見直しに関し、調査審議します。

- 応募方法 所定の申込書(健康推進課または上田市ホームページにあり)に「食育と健康づくりについて」と題したレポート(800字以内・書式自由)を添えて、健康推進課に提出してください。レポートと面接により決定。

●応募締切 6月30日(木)  
問 健康推進課 TEL28・7124

#### 上田市行政チャンネル市民レポーターを募集!

市政番組専用チャンネル「上田市行政チャンネル」は、平成20年10月に開局して3年目を迎えます。これまで、市政企画番組、テレビ版広報うえだ、季節映像などはもちろん、市長自らが今の市政課題を分かりやすく話す「ようこそ市長室へ」、ノーカットの市長記者会見といった市ならではの番組をお届けしてきました。

市民参加の番組づくりを目指す行政チャンネルでは、レポーターなどで番組制作にご協力いただける方を募集しています。応募資格などは特に設けていません。経験や専門的な知識は必要ありません。興味のある方は電話でお問い合わせください。「市民レポーターが登場する番組

は親しみが持て、わかりやすい」と視聴者の皆さんからも好評の市民レポーターとして、あなたも出演しませんか。

なお、行政チャンネルの視聴には「専用デジタルチューナー」が必要ですが、インターネットチャンネルとして上田市ホームページからご覧いただけます。

問 秘書課 TEL23・5149



番組「信州デスティネーションキャンペーン」で女子大生の市民レポーターが活躍

おわびと訂正  
広報うえだ5月16日号の裏表紙・6月の相談コーナー「行政相談/登記法律相談(要予約)、丸子地域自治センター(会場)」の開催日に誤りがありました。正しくは「6月15日(水)」です。訂正しおわびします。  
問 市民生活課 TEL42・1216

#### あたたかい心

ご寄付いただいた皆様、ありがとうございます。厚くお礼申し上げます。(4月分)  
◇川西商工振興会青年部様  
二槽式洗濯機、CDラジカセ(3万円相当)/室賀保育園へ

<広告欄>

## 医療法人三折堂 宮下医院

### 神経内科・内科・胃腸内科

〒386-0023 長野県上田市中央西1-15-12  
TEL 0268(22)4328 FAX (26)8231

- 理事長/宮下美生 消化器病専門医(日本消化器学会認定)
- 院長/宮下暢夫 神経内科専門医(日本神経学会認定)

診療時間 午前 9:00~12:00  
午後 3:00~6:00  
休診日 土曜午後・日曜・祝日



#### 神経内科

※初診の方は予約をおすすめします。

頭痛・めまい・しびれ・ふるえ・歩行障害・認知症などを来たす脳神経系の病気を診断し、内科的に治療する科です。

#### 主要設備

オープン型MRI、超音波検査装置(腹部一般、頸動脈エコー)、胃・大腸内視鏡、レントゲン、筋電図検査装置等

# 自然に触れ合い親しめるため池に、 蛍水路を整備しています。

にしごわつねゆき  
西澤恒幸さん  
てしがわらいさお  
勅使川原功さん  
やましたさし  
山下哲さん

塩田地域の南西部に位置する舌喰池は、塩田平のため池群の中で4番目に大きな人工のため池です。手塚自治会では「水を敬い、自然との共生を大切にする場所」とするために、池とその周辺の整備に取り組んでいます。

平成20年、池の敷地内の南側に幅1m、長さ38mの蛍水路を整備しました。「市内の蛍水路を視察し、ホタルが生息するのに最適な工法に取り組んだ。昨年6月には100匹を超えるホタルが水路の周りを舞いました」と、経過を話してくれた蛍水路建設委員会の前委員長・勅使川原功さん（左の写真中央）。

平成21年には、舌喰池を題材に地域住民が取り組んだワークシヨップや、植栽・湧水地整備など、これまでの活動が評価され

「農業農村整備事業広報大賞」にも選ばれました。  
委員会の構

成メンバーである手塚青少年健全育成会は、自治会区民とともに蛍学習会を開催。

自治会長の西澤恒幸さん（左上の写真右）がホタル研究者としてホタルの生態などを地域の子どもたち

取材に伺った5月12日、舌喰池を囲む遊歩道の土手にシバザクラが鮮やかに咲く中、山下哲さん（左上の写真左）たち、手塚農水保全会のメンバーがシバザクラを植栽する床づくり作業を行っていました。今年度は、第1期の水路へつながる長さ70mの第2期蛍水路整備を、8月末に着手する予定です。西澤自治会長は、「舌喰池を教育機関の子ども達に、生きた教材として提供し、自然の生物や植物を慈しむ心の増進を育んでほしい」と話していました。



手塚自治会の「水・環境を守る癒しの里手塚自治会事業」は、わがまち魅力アップ応援事業の採択を平成20年度に受けました。今年の事業で第2期蛍水路の整備を行います。

平成21・22年度には県営田園整備事業の一環として、舌喰池の源流であり、自治会の南側に位置する竜王湧水地（ゆうすい）一帯の整備と池周辺の遊歩道、親水公園、四阿の整備を自治会主体で行いました。

「みんなでつくってみんなで管理、舌喰池」をテーマに、今後も地域のことは住民主導で創造していきたいとしています。



わがまち魅力アップ応援事業を紹介するコーナーです。



<広告欄>

## 補聴器無料お試し体験会開催

「補聴器は雑音がうるさくて」という声にお答えして、お耳の形と聴力に合わせた補聴器でお試しください。



補聴器のタイプも多種多様です。現在ご使用の補聴器にご不満を抱えている方、初めてのご使用を考えている方に、十分に納得していただけるまでご相談に応じます。その上でお客様の耳の形や生活に適した補聴器を、何度でもお試し頂き、最適な補聴器をお届けします。

■雑音抑制機能付き完全全自動補聴器  
販売価格 140,000円～（非課税）  
☆代金の分割払いも承りますのでご相談ください。  
■補聴器用電池1パックいつでも 630円

補聴器ご購入のポイント

1. 正確に聴力を測定すること ※聴力測定で、ご自分の難聴の種類と程度がわかります。
2. お耳の形と現在の聴力にぴったり合わせる ※正確に調整できる設備と技術
3. ご購入後も安心してご使用いただける生涯アフターメンテナンス  
※補聴器は身体に付けてご使用いただくものなので、定期的に点検、お掃除がずっと必要になる機械です。

★全国100店舗ネットの補聴器専門店。真心と誠実がモットーのゆっくり、じっくり相談できるお店です。お気軽にご相談下さい。聴力測定室も完備。

世界の補聴器のリードメーカー、オーティコン、シーメンス補聴器etc

北陸補聴器株式会社 身体障害者福祉法補聴器委託契約店

## 信濃補聴器センター

上田市中央3丁目5-22 上田市ふれあい福祉センターとなり

☎(0268)23-0428

■営業時間 午前9時～午後5時 ■定休日 毎週日曜・祝日・第4土曜日  
■ご相談により、時間外相談も承ります。お気軽にどうぞ。



有料広告掲載のお問い合わせは、上田市秘書課 (TEL23・5149) または(有)ダンディ信濃・トミー企画 (TEL23・1706) へ。

4月下旬から5月上旬にかけて武石の里を彩る花桃。今年は寒い日が続いた影響で、開花が少し遅れましたが、赤、白、ピンクの花が、連休中に訪れた大勢の花見客を迎えました。春の風物詩としてすっかり定着した武石余里の一里花桃の里ですが、今年も花桃をめぐる多彩な催しが行われました。

4月29日には、「第7回ノルディックウォーキング in 余里一里花桃の里」が開催され、県内外から大勢の参加者が、美しい里山の景色を眺めながら歩きました。

また、武石保育園では5月2日に花桃の里へ散歩に出かけました。里へ着くと咲いている花桃を見て、思わず「わぁ〜!」と、駆け出す子どもも。落ちていた花びらを拾った園児たちは、「見て、これきれいでしょ!」と得意そうに近くにいた大人に見せていました。

「世界中で一番きれいな2週間」といわれる花桃の里は、まるで地域全体が公園のように大人も子どもも憩い、自然に親しんでいました。

# 余里の一里花桃 大人も子どもも 自然に親しんで



## 四ツ葉スケッチ

このコーナーでは、4地域の話題や出来事などを紹介しています。

### 春の地域安全運動

## みんなでつくろう安心の街



いました。

また、運動期間中は、「みんなでつくろう安心の街」のスローガンのもと、振り込め詐欺の被害防止、車上狙いや自転車盗難などの街頭犯罪防止を運動の重点として、各自治会の防犯指導員を中心に防犯診断や防犯パトロールが行われました。

これからも1年を通して、青色防犯パトロール車による見回り巡視を実施し、犯罪の未然防

止や防犯意識の向上を図ると共に、安全で安心な街づくりに向けた活動を展開していきます。

丸子地域では、4月27日から5月6日までの10日間にわたり、春の地域安全運動が実施されました。初日の27日には、上田警察署、依田窪防犯協会連合会、および防犯指導員が出席し、丸子地域自治センター前で出発式、パトカー先導による広報パレードを行いました。その後、大型店舗の店頭において、地域の防犯意識向上を目的として、自動車ドアロックの呼びかけや振り込め詐欺対策に関する防犯チラシなどを配布する街頭啓発活動を行いました。



上田

と一緒  
穏やかな  
時間を過  
ごしまし  
た。

メッセージの込められたものが多いです」と、同倶楽部代表・金子政夫さん。しかし、腹部に傷のあった1頭は、公募した数日後に死んでしまったそうです。

5月3日・4日に行われた市民の森馬術場震災チャリティイベントでは、名前を決定し発表。黒鹿毛の馬は「スーパヒーロー」、栗毛の馬は「ホープライン」、鹿毛の馬は「大和」と命名されました。

当日は、体験乗馬なども行われ、3頭の馬も子どもたち



4月1日、上田乗馬倶楽部では、東日本大震災で被災した福島県南相馬市の4頭の馬を受け入れられました。馬は、津波に流されながらも運よく生き残ったものの、全身にたくさんの傷があり、あばら骨が見えるまでやせ細った痛々しい姿でした。

黒鹿毛の1頭には競走馬名がありました。3頭には名前もなく公募。新聞報道などを受け、全国から多くの名前が寄せられました。「どれも一生懸命考えた名前の由来と手紙つき。希望を持つとうとうつきました。」

## 上田乗馬倶楽部が被災馬を受け入れ メッセージの込められた名前が決定！



新鮮市真田オープン

安全で安心な農林産物を提供します

春爛漫を迎えた4月29日、農産物直売所「新鮮市 真田」がリニューアルオープンしました。

この施設は、これまで(財)上田市真田の郷振興公社が管理運営していましたが、4月からは上田市の指定を受けたJA信州うえだが運営します。これまでの新鮮市とJA信州うえだ本原直売所が統合され、「新鮮市 真田」として充実を図り、開設されました。

販売される農林産物の生産者が加入する真田農林産物直売所利用組合に約230人が新会員となり、地元産の新鮮な野菜やきのこを取りそろえます。

この日はオープンセレモニーが行われ、式典後には、開店を待ちわびた来場者が、信州真田六文銭太鼓の演奏を合図に開店となった店内で、ところせましと並べられた新鮮な旬の野菜などを買求め、目玉として用意された日替わり特売品は開店後10分程で完売となる盛況ぶりでした。

また、隣接する「ゆきむら夢工房」も協賛して、地粉の手打ちそばなどを販売。子どもたちへの風船プレゼントも好評でした。



真田



「丸窓電車」がさくら国際高校へ  
住民や鉄道ファンに見守られお引越  
し提供／別所線電車存続期成同盟会

4月16日、さくら国際高校に丸窓電車が引越しました。

丸窓電車は昭和2年(1927)に3両製造され、昭和61年(1986)まで別所線を走り親しまれてきました。1両は平成16年(2004)に長野計器に譲渡され、丸子工場入口に資料館として一般公開されています。残り2両は別所温泉駅で静態保存されていますが、そのうちの1両が資料館として整備されイベントなどで開放されることとなり、残り1両がこの度さくら国際高校に譲渡されました。

当日午前0時30分、住民や鉄道ファンが見守る中、移設工事が開始され、午前2時に完了しました。

空が明るくなってきた午前5時30分、大型トレーラーで別所温泉を出発した丸窓電車は、約3kmを30分かけて、手塚にあるさくら国際高校(旧西塩田小学校)に到着しました。その後、午前7時過ぎに、同校の中庭にある展示スペースに設置されました。

さくら国際高校では、今後補修し手入れをしながら、生徒や地域の方と一緒に活用方法を考えていくそうです。

また、同校は当同盟会の会員でもあることから、ともに丸窓電車を「地域の財産」として大切にしていきたいと考えています。



読者通信は、市民の皆さんからの話題提供や投稿でつづるコーナーです。

